

GPS付フルミラー型 スマートドライブレコーダー

取扱説明書 / 保証書



この度は、弊社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用になる前に本書内容をよくお読みになり、正しく安全にご使用ください。
なお、お読みになった後は、大切に保管してください。



事故発生時は、ファイル保護の為、必ず電源をOFFにしてから
電源プラグを抜いて、ファイルが上書きされない様にしてください。

microSDカード最大128GBまで対応 ※Class10以上 をご使用ください。

※新品のmicroSDカードをご使用の場合には、「システム設定」の
項目よりフォーマット作業を必ず行ってください。

●初期設定不要で、基本的な動作は可能です●

もくじ

•ご使用の前に	2
•安全上のご注意	3~4
•お手入れについて	5
•セット内容	5
•仕様	6
•各部の名称	7
•取付け方	8~10
•車との接続	11
•microSDカードについて	12
•電源オン/オフ・画面の消灯/点灯	13
•タッチ操作	14
•ビデオモード	15
•再生モード	16
•ミラーモード	16
•設定メニュー	17~19
•電波干渉に関するご案内	19
•録画ファイルの読み込み	20
•GPSビューアアプリ【GXPlayer】	21~25
•microSDカードに関するご案内	26
•用語解説	27
•必ずお読みください	28~29
•保証書	巻末

ご使用前に

- 本製品の仕様及び外観は予告なしに変更することがあります。
- 本書で説明しているイラストや写真は、実際の製品と異なる場合があります。
- 接続、設置、配線等の説明図は全てイメージです。
- 本製品の使用による、下記のような損害及び逸失利益などに関し、当社では一切その責任を負いかねます。
 - ・車両や物損事故、及び人身事故
 - ・本製品を取り付けたことによる車両や車載品の故障、事故等の付随的損害
 - ・事前検品なく本製品を取り付けた後に発覚した製品不具合による取り付け及び取り外しにかかる工賃や工事費
 - ・microSDカードに保存されたデータの破損 など
- LEDタイプの信号機は画面がちらついたり、色の識別ができない場合があります。
- 本製品は全ての状況において映像の記録を保証するものではありません。特に下記の場合にデータが上書きされるなどして必要なデータが保護されない場合があります。
 - ・車両への衝撃が弱く、本製品のデータを保護する機能が働かない場合
 - ・人や自転車との衝突で衝撃が軽い場合
 - ・車両がスリップするなどして、衝撃が緩和された場合
 - ・衝撃で本製品への電源供給が切断されて記録できない場合
 - ・水没などで本製品が損傷してデータそのものが破損した場合
- 本製品で記録した映像、音声データの使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシー等の権利を侵害する場合があります。これらの場合について当社では一切その責任を負いかねます。十分にご注意ください。

安全上のご注意

 警告	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	誤った取扱いをすると、人がケガをしたり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

警告

- 運転者は車両の走行中に操作、画面の注視をしないでください。運転中の操作は前方不注意となり、事故の原因となります。操作は必ず安全な場所に停車して行ってください。
- 運転（ハンドル操作、ブレーキ操作）や視界の妨げにならない場所に取り付けてください。誤った場所に取り付けると、交通事故やケガの原因となります。
- エアバックの近くに取り付けたり、配線をしないでください。エアバックの動作を妨げたり、エアバックで本製品が飛ばされ、ケガや事故の原因になる恐れがあります。
- 取付けには車両の保安部品のボルトやナットを使用しないでください。事故の原因となります。
- 取付け・配線後は、車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウインカーなど）が正常に動作するかご確認ください。火災や感電、事故の原因となります。
- 配線は、運転操作や乗り降りの妨げにならないように配線処理してください。事故やケガの原因となります。
- 医療機器の近くで使用しないでください。医療機器に影響を与える恐れがあります。
- 本製品の動作を確認するために、急ブレーキ等の危険な運転はおやめください。
- 万一破損、故障した場合や、異臭や発熱など異常を感じた時はすぐに使用を中止し、販売店またはカスタマーセンターへご連絡ください。
- ご自身で修理・分解・改造しないでください。火災や感電の原因になります。
- 必ず規定容量のヒューズを使用してください。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や発煙、発火、故障の原因となります。ヒューズの交換や修理は、専門の技術者へ依頼してください。
- 小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かないでください。

安全上のご注意

注意

- 本製品は車両の走行状態、事故時の状況を記録するための機器です。その他の目的には使用しないでください。
- 本製品は日本国内仕様です。海外では使用しないでください。
- 次のような場所では使用や保管しないでください。故障の原因になります。
 - 直射日光の当たるところ
 - 極端に高温・低温になるところ
 - 湿気やホコリ、油煙の多いところ
 - 炎天下で窓を閉め切った自動車内（エンジンを切った駐車中の無人の車両を指します。）

※炎天下で窓を閉め切った車内では使用・保管せず、一旦本機を取外して上記以外の場所で保管してください。
- 車以外に使用すると、発煙や発火、感電やケガ、故障の原因となります。
- 取付けは確実に行ってください。確実に取付けられていないと、落下して故障の原因になります。
- 落としたり強い衝撃を与えないでください。故障の原因になります。
- 水につけたり、水をかけたりしないでください。故障・火災・感電の原因になります。
- 濡れた手で触らないでください。故障・感電の原因になります。
- ズボンやスカートのポケットに入れたまま座ったり、カバンの中などで重いものの下にならないようにしてください。無理な力がかかるとモニターや内部の基板などが破損し、故障の原因になります。
- ご自身で修理・分解・改造しないでください。故障の原因になります。
- コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重い物を載せる、熱器具へ近づける、車の金属部や高温部に接触させるなどしないでください。車体やねじ、可動部（シートレールなど）へ挟み込まないように配線してください。
- 推奨動作温度（ -10°C ～ $+60^{\circ}$ ）、保管温度（ -20°C ～ $+80^{\circ}$ ）
- 液晶画面に表示される映像とミラーに映る範囲は異なります。
- 後退時は、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

お手入れについて

- お手入れをするときは、必ず電源を切り、DCケーブルを車のシガーライターソケットから抜いて行ってください。
- シンナーや化学洗剤を使用しないでください。
- 汚れやホコリは柔らかい布で拭き取ってください。

セット内容

※改良の為、仕様等は予告なく変更になる場合があります。

- 本体 (フロントカメラ)
- 付属リアカメラ (粘着テープ付/ケーブル約5.9m)
- GPSアンテナ (粘着テープ付/ケーブル約1.9m)
- 取付用バンド×2個
- DC電源プラグ (5V/3A 12V/24V車対応、ケーブル約3.4m)
- 取扱説明書 (保証書付)
- 録画中シール

※microSDカードは別売です。

※ダブルカメラでご使用するには、付属リアカメラの接続が必要です。

仕様

※改良の為、仕様等は予告なく変更になる場合があります。

製品型番	RA-DM117G
本体サイズ	約W272×H73×D43mm(取付部含まず)
本体重量	約391g
スクリーンサイズ	11.26inch(IPSパネル採用)
イメージセンサー	フロント/360万画素カラーCMOS 付属リアカメラ/200万画素カラーCMOS
解像度	フロント/2560×1440 付属リアカメラ/Full HD(1920×1080)
視野角	フロント/対角143°、水平120°、垂直64° 付属リアカメラ/対角128°、水平115°、垂直60°
フレームレート	フロント/27.5fps 付属リアカメラ/30fps
リアカメラサイズ	約W67×H37×D33mm
リアカメラ重量	約120g(ケーブル含む)
記録媒体	microSDカード 16~128GB対応(Class10以上)
インターフェース	USB差込口(mini USB)・AV-in microSDカード差込口・GPSアンテナ差込口
保証期間	6ヶ月

- ※本製品はmicroSDカードを挿入しないと撮影ができません。
- ※microSDカードはすべての動作を保証するものではありません。
最初にmicroSDカードは、本機でフォーマットしてからご使用ください。
- ※microSDカードの挿入または取り出しは、電源を切ってから行ってください。
- ※シガープラグ・USBケーブル等は、同梱の純正品をご使用ください。
純正品以外部品では動作の保証はいたしかねます。
- ※本機は仕様・特性上、使用中の本体は45~50℃程になります。

各部の名称

※改良の為、仕様等は予告なく変更になる場合があります。



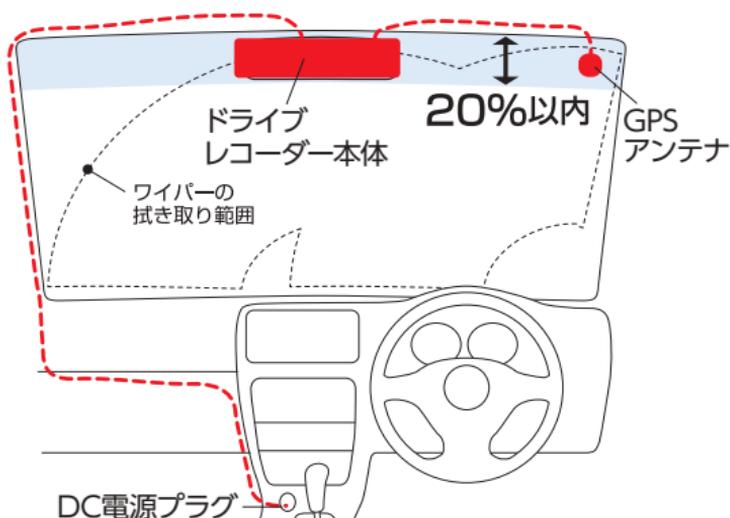
- ① miniUSB端子
- ② 付属リアカメラ入力 (AV-in)
- ③ microSDカード挿入口
- ④ GPSアンテナ接続口
- ⑤ スピーカー
- ⑥ 取付用バンド取付け位置
- ⑦ リセットボタン (※動作不良時に使用)
- ⑧ カメラレンズ
- ⑨ ミラー/モニター
- ⑩ マイク
- ⑪ 電源ボタン

【付属リアカメラ】



取付け方 (取付ける際のご注意)

■ 取付け位置例



- 車を平らで安全な場所に駐車してから取付けてください。
- 配線後のコードは、運転の支障にならないように固定してください。
- GPSアンテナはフロントガラスの上部20%の範囲内に取付けてください。
- カメラレンズがルームミラーの操作に干渉しないように取付けてください。
- 配線後のコードは、運転の支障にならないように固定してください。
- 車検証ステッカーなどに重ならないように取付けてください。

※リアガラスの取り付けに関しては、特に保安基準で決められたことはありませんが、効率よく綺麗に映像を撮影するためにしっかりと取り付けをお願いいたします。

取付け方

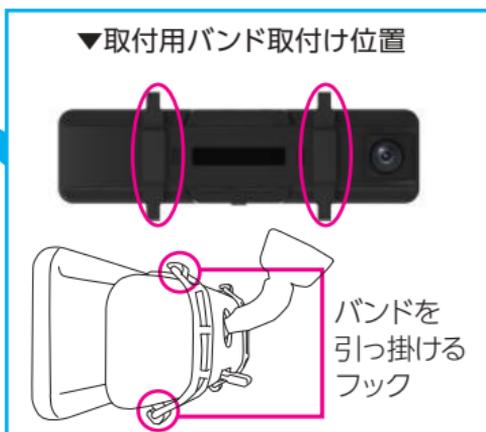
■ 本体の取付け方



① 予め本機のレンズをスライドさせておき、レンズが隠れないように本機をルームミラーの上に重ねます。



② 付属の「取付用バンド」で本機とルームミラーを固定し、取付が完了です。



※レンズがルームミラーで隠れないようにしてください。

※レンズを傷つけたり、触らない様ご注意ください。

■ GPSアンテナの取付け方

粘着テープでフロントガラスに貼って固定してください。



取付け方

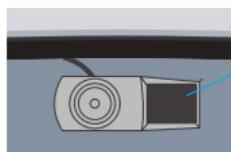
■ 付属リアカメラの取付け方

- 付属リアカメラの接続ケーブルを本体の入力端子に接続します。



- 本体に接続する事により、本体カメラの録画時には付属リアカメラの映像は自動的に録画されます。
- 付属リアカメラを固定する際は、付属リアカメラについている粘着テープ等で取付けてください。付属リアカメラは車種や設置場所によりますが、ユーザー様のアイデア次第で後部座席の確認や車内外の別方向の撮影にもご利用頂けます。※完全防水ではありませんので、車外の取付けはお止めください。
- 付属リアカメラの取付け位置によっては、保安基準により車検に通らない場合があります。詳しくは、**「取付け方(→P.8)」**をご参照ください。
- 濃いスモークガラスの場合、映りにくい場合があります。

■ 付属リアカメラの取付け位置例



粘着テープで貼って固定してください。

※あくまでも例(イメージ)です。
取り付ける車両によりご対応ください。

車との接続

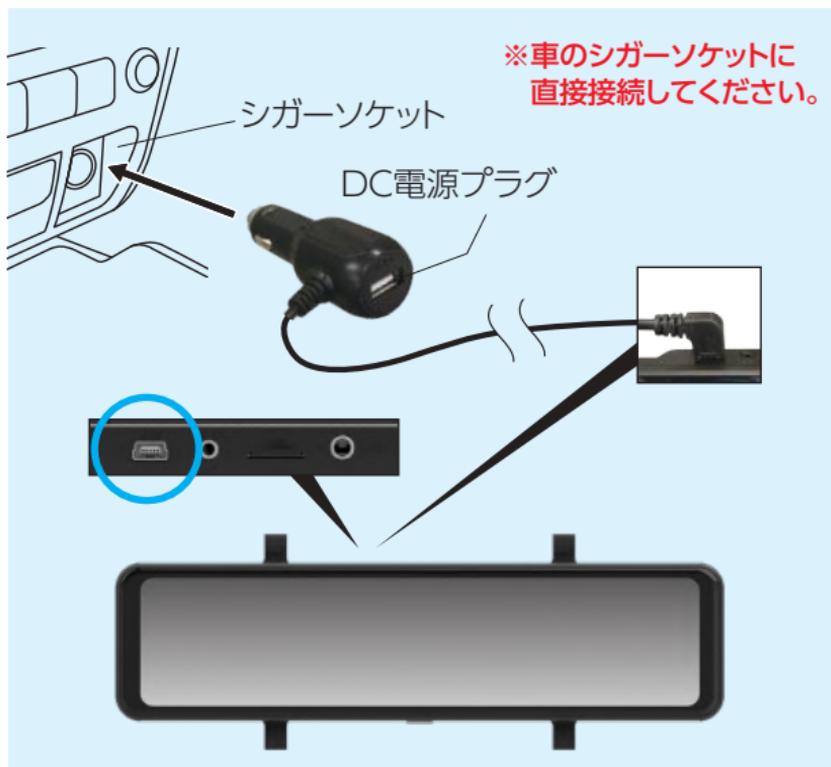
⚠ 注意 故障の原因となります

※必ず付属品を使用してください。

※バッテリーやヒューズボックスへの直接接続はおやめください。

※他の電化製品と分配して同時に使用すると、電圧不足で使用できない場合があります。

①下の図を参考に接続してください。



②エンジンをかけると自動的に電源が入り、撮影が開始されます。

※本体にmicroSDカードが挿入されていない場合は、電源は入りますが撮影はされませんのでご注意ください。

③エンジンを切ると、自動的に撮影を停止し、データを保存してから電源が切れます。

microSDカードについて

■ microSDカードをセットする前に

- ※microSDカードを挿入しないと撮影ができません。
- ※最初にmicroSDカードは、本機でフォーマットしてからご使用ください。→「設定メニュー(P.18)」

- microSDカードの挿入または取り出しは、電源を切ってから行ってください。(録画中は取り出さないでください。)
- 本製品とパソコンの接続中にパソコンでmicroSDカードに記録されているデータのファイル名やディレクトリ名を変更しないでください。本製品がmicroSDカードを認識できなくなり、正しく機能しない恐れがあります。

一般的に、microSDカードは消耗品で寿命があります。

(製品により異なります)

寿命がくると、画面の乱れなど正常な録画ができない恐れがありますので、定期的に新品への交換をお勧めします。

■ microSDカードのセット・取り出し

- 電源がオフになっていることを確認してから、microSDカードの挿入向きを示すマークに従い、microSDカードの印刷面がミラー側に向くように「カチッ」と音がするまで確実に挿入してください。



- 取り出す時は、microSDカードを押し込み、microSDカードが少し飛び出してから取り出します。(※バネにより飛び出しますので紛失にご注意ください。)

電源オン/オフ・画面の消灯/点灯



電源ボタン

■ 電源オン

- DC電源プラグが接続されている状態で、エンジンをかけると自動的に電源が入ります。(録画も開始されます。)
- 電源が切れている時、電源ボタンを長押しすると電源が入ります。

■ 電源オフ

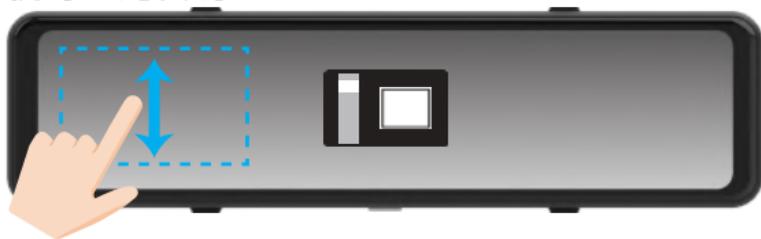
- DC電源プラグが接続されている状態で、エンジンを切ると自動的に電源が切れます。
- 電源が入っている時、電源ボタンを長押しすると電源が切れません。(録画も終了しません。)

■ 画面の消灯/点灯 (※録画中は撮影は停止されません)

- 電源が入っている状態で1度押しと画面が消灯し、もう1度押しと点灯します。

タッチ操作

■ 視野の角度調整



- ミラー左側(上の図のあたり)を上下にスライドすると、表示される視野角度を上下に調整できます。

■ 画面の明るさ調整



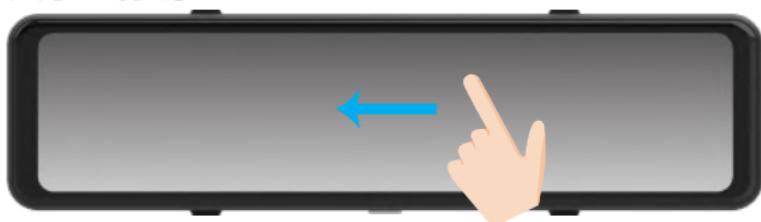
- ミラー右側(上の図のあたり)を上下にスライドすると、画面の明るさを調整できます。

■ 再生モードに切替え



- ミラーを右へスライドすると、再生モードに画面を切替えます。

■ 表示映像切替え



- ミラーを左へスライドすると、フロントカメラと付属リアカメラの表示を切り換えます。(※付属カメラ接続時)

左へスライドする度に切替え: フロント⇒リア⇒フロント&リア⇒戻る

ビデオモード

■ビデオモード時の主な画面表示

※設定によって表示は異なります。



□設定状態表示

- ①録画中 ②解像度 ③録画時間 ④日付 ⑤時間
- ⑥付属リアカメラ接続状態 ⑦音声録音状態 ⑧通電状態
- ⑨GセンサーON状態 ⑩GPS受信状態(ON:緑/OFF:黄色)

□操作アイコン

- Ⓐタッチで音声録音ON/OFF
- Ⓑタッチで録画開始/終了
- Ⓒタッチで設定メニューに画面を切り替え(→P.17 設定メニュー)
- Ⓓ強制ファイルロック(※Gセンサーと同機能)

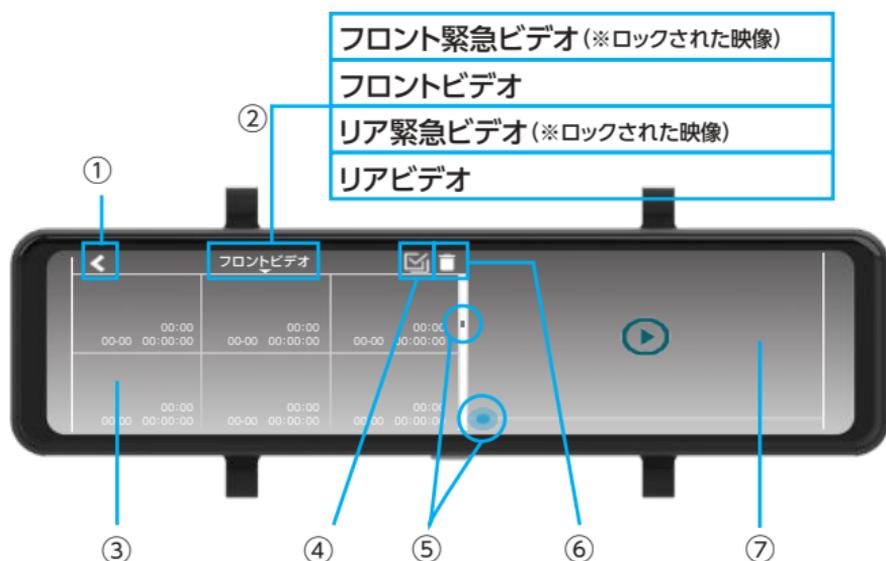
□数秒操作が無い場合の表示 (※録画中は撮影は停止されません)



再生モード

■再生モード時の主な画面表示

- ミラーを右へスライドすると、再生モードになります。



- ①ビデオモードへ戻る
- ②表示する録画種類選択
- ③録画ファイル
- ④ファイルの全選択
- ⑤スライダー
- ⑥ファイルを選択して削除
- ⑦再生画面

ミラーモード (※録画中は撮影は停止されません)

- 電源ボタンを一度押すと、液晶画面が消灯し、通常のルームミラーとしてお使い頂けます。



※ルームミラーとしてお使いの場合、ミラー自体の角度を変えると、カメラの角度も変わりますのでご注意ください。

設定メニュー

- タッチして、設定を変更できます。
(設定を変更するとアイコンが変化します。)

 2K 解像度	2K/FHD フロントカメラの記録解像度を設定します。 2K (2560×1440) / FHD (1920×1080)
 ループ録画	1分/3分/5分 ループ録画で記録される1ファイルあたりの録画時間を設定します。
 音声録音	ON/OFF 録画と同時に音声録音をする・しないを設定します。
 Gセンサー	OFF/低/中/高 Gセンサー(衝撃感知)の感度レベルを設定します。
 スクリーンセーバー	OFF/1分/3分 一定時間操作なしで設定した時間で自動的に液晶画面を消灯(ミラーモード)にする時間を設定します。
 H265 エンコード	H.265/H.264 エンコード(データ形式の変換)を選択します。
 60HZ 周波数	60Hz/50Hz 周波数を選択します。
 ボタン音	ON/OFF タッチ操作音がする・しないを設定します。

設定メニュー

- タッチして、設定を変更できます。
(設定を変更するとアイコンが変化します。)

 スピーカー	ミュート/低/中/高 スピーカーの音量を設定します。
 起動音	ON/OFF 起動音がする・しないを設定します。
 メディア	ON/OFF 電源を切る前の表示していた映像を、次に電源を入れる時に維持する・しないを設定します。
 言語	各言語 表示する言語を設定します。
 時間設定	年・月・日・時・分 時間を設定します。
 フォーマット	microSDカードのフォーマット microSDカードのフォーマットをします。 通常は「クイックフォーマット」はチェックしてください。 処理速度が速くなります。
 デフォルト	本体のデフォルト(初期化) 本体を工場出荷時の状態にリセットします。
 バージョン	バージョンの表示 メーカー管理用です。

設定メニュー

- タッチして、設定を変更できます。
(設定を変更するとアイコンが変化します。)

※ 下記メニューは、GPSアンテナを認識している場合のみ表示されます。
表示されない場合は、設定メニュー内で画面を右へスライドしてください。

 GPSテスト	GPSテスト
	GPS受信状況確認用

※ GPSの受信環境により、GPS受信までに時間がかかる場合があります。また、まれにGPS受信が長時間にできない場合があります。

 速度校正	-6/-4/-2/0/+2/+4/+6
	車両により若干速度差があるので、この機能で速度校正します。

 速度設定	80KM/H~160KM/H
	制限速度設定します。例えば、100KM/Hで設定し100km以上で運行すると警告音で出ます。

電波干渉に関するご案内

- ドライブレコーダーを設置した際に、まれに車載のテレビ／カーナビ等にノイズが出る場合があります。ドライブレコーダーを含む全ての電子製品は少なからず電磁波(ノイズ)を発生させます。ノイズは車種や車の電子デバイスの構成により発生する場合があります。
- カーナビ等の本体やアンテナからドライブレコーダーや電源ケーブルを離してください。
- シガーソケットから分配器を使用(タコ足配線)した場合に、ノイズが発生する場合がありますので、シガーソケットへ直接接続してご確認ください。
- 車のシガーソケットから充電する機器の影響でノイズが発生する場合があります。

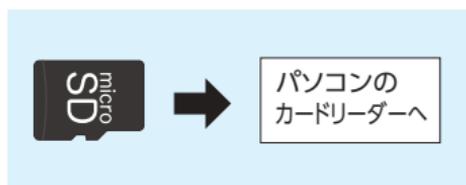
録画ファイルの読み込み

本機で記録した録画ファイルは、通常の動画ファイルと同じようにパソコンで取り扱うことが可能です。

※録画ファイルの確認は、パソコンのモニター等大きな画面での再生をおすすめします。

- パソコンのモニターで録画ファイルの再生
- 録画ファイルのバックアップ
- 不要なファイルの削除 等

■ microSDカードから読み込み



- ①本機からmicroSDカードを取出し、パソコン側のカードリーダーへ挿入します。
- ②パソコン側で認識され、録画ファイルを確認できます。

※microSDカードをパソコンで読み込むには別売のカードリーダーが必要な場合があります。
※パソコンでのファイルの操作方法は、パソコンの取扱説明書等でご確認ください。

- microSDカード一杯に録画されると、ロックされていない最初のファイルから上書きされる仕様になっています。
- 大事なデータは、随時パソコン等へ移してバックアップすることをおすすめします。

GPSビューアアプリ【GXPlayer】

録画されたファイルのGPSデータにて、GPSビューアアプリ『GXPlayer』を使用して、パソコン上で走行データの視聴確認ができます。

■『GXPlayer』のダウンロード

池商のウェブサイト (<http://www.ikesho-n.jp>) にアクセスし、以下のページでダウンロードしてください。

- **家電** > **サポート情報** > **ダウンロード** > **ソフトウェアダウンロード** > **ドライブレコーダー** > 『GXPlayer』

(<http://www.ikesho-n.jp/ramasu/support/download/software/>)

【池商ウェブサイト】



GPSビューアアプリ【GXPlayer】

■『GXPlayer』画面表示説明



①再生画面

②ファイル再生インジケーター(スライドで移動可能)

③ファイル再生時間/ファイル時間

④音量オン/オフ

⑤音量(スライドで調節可能)

⑥ファイルリストの1つ前のファイルを再生

⑦▶:再生 / || :一時停止

⑧ファイルリストの1つ次のファイルを再生

⑨停止

⑩フォルダを開いて再生するファイルを選択

⑪再生中の動画の静止画キャプチャーを保存(.bmpファイル形式)

GPSビューアアプリ【GXPlayer】

■『GXPlayer』画面表示説明（つづき）

- ⑫再生中の動画のスピードメーター（※1）
- ⑬再生中の動画の方位（※1）
- ⑭設定メニュー（⇒P.25『GXPlayer』設定メニュー）
 - 言語選択 ●速度単位選択 ●地図選択 ●バージョン確認
- ⑮ウィンドウの最小化
- ⑯ウィンドウの最大化/縮小
- ⑰アプリの終了
- ⑱**地図**:再生中の動画のGPSデータに連動した地図と経路を表示
（※GPSを止めて録画したファイルを再生した場合には機能しません。）
- ⑲**ファイルリスト**:直近で再生したファイルのリストを表示します。
再度視聴したい場合はダブルクリックで再生します。

※1…GPSデータを使用している為、実際の速度/方向と差異がありますので、あくまでも目安としてご確認ください。

GPSビューアアプリ【GXPlayer】

■『GXPlayer』使用方法

- ①録画ファイルをパソコンに読み込みます。
- ②『GXPlayer』を起動します。
- ③フォルダアイコン(➡P.22『GXPlayer』画面表示説明⑩)をクリックして、再生したい録画ファイルがあるフォルダを開きます。
- ④録画ファイルを選んで開きます。
- ⑤録画ファイルが再生されると、GPSデータに連動して右画面に地図と経路が表示されます。

■注意事項

- 対応OS:Windows8/10(※Mac非対応)
- 全てのパソコンにおいての動作は保証しておりません
- パソコンの処理能力によっては、反応が遅い等の動作が安定しない場合があります。
- 動作が不安定な場合は一度アプリを閉じた後、再度起動し直すと正常に動作する場合があります。
- 仕様変更や改良の為に、予告なくバージョンアップする場合があります。バージョンアップに伴い表示や操作方法が変更される場合があります。
- 地図・スピードメーター・方位はGPS受信したデータとなります。

GPSビューアアプリ【GXPlayer】

■『GXPlayer』設定メニュー

『GXPlayer』画面右上の設定メニューアイコン(➡P.23『GXPlayer』画面表示説明 ⑭)をクリックすると、設定メニューが表示されます。各項目の右端の▼ボタンで選択項目が表示されます。

- ① Language/言語: 日本語・英語・中国語 等
- ② Speed unit/速度単位: KMH・MPH
- ③ Maps/地図: amap・Google Map・OpenstreetMap
- ④ soft service/バージョン: バージョンの確認・バージョンアップ



microSDカードに関するご案内

- microSDカードは、消耗品ですので使用頻度により劣化します。
 - **新しいmicroSDカードをご使用の場合には、フォーマット作業を必ず行ってください。※フォーマットとは、初期の状態にして本機で使えるようにする作業のことです。フォーマットをするとSDカード内の録画ファイルは全て削除されます。**
 - microSDカード内に、Gセンサー機能にて保存された録画データが増えると繰り返し録画をする容量が減少し、録画が出来なくなりますので、不要なファイルを削除頂くかフォーマットしてください。
 - 月に1回程度はドライブレコーダー本体またはパソコンにて録画確認を行ってください。録画確認の際に、録画出来ていない・途切れる・暗くなる等の症状が出た場合にはmicroSDカードを交換してください。
 - 必要な録画データは、本機からmicroSDカードを抜き出し、パソコンに移すなどをして必ずデータのバックアップを行ってください。再度本機でmicroSDカードをご使用の場合には、本書記載のフォーマット作業を行ってください。
 - エラー表示、録画しない、砂嵐が出る、画面が消える等の症状が出た場合は、microSDカードがしっかりと差し込まれていることを確認してください。差し込みに問題がない場合は、本書記載のフォーマット作業を行ってください。
- ※月に1～2回本機でmicroSDカードをフォーマットすると動作が安定します。定期的なフォーマットを行ってください。**

- **ループ録画** …繰り返しの上書き録画。1分／3分／5分間隔の録画時間を選べます。オフに設定すると、microSDカードの容量いっぱいまで録画します。
- **Gセンサー** …衝撃を感知したときに自動的にファイル保護する機能です。ただし、**衝撃の度合いによっては、ファイルを保護できない場合があります。事故発生時は、ファイル保護の為、必ず電源をOFFにしてから電源プラグを抜いて、ファイルが上書きされない様にしてください。**
- **スクリーンセーバー** …スクリーンセーバーがオンになっている場合、設定した時間に画面は消えますが、録画は続いています。※走行中に画面の動きが運転の邪魔になるなどの場合に設定してください。
- **スーパーキャパシタ** …メモリー等のバックアップなどに使用される蓄電装置のことです。製品寿命が長く、バッテリーに比べて安全性の高さが特徴です。
- **GPS** …Global Positioning System (グローバル・ポジショニング・システム) の略で、GPS衛星からの信号を受信機で受け取って、現在位置を把握するシステムです。

・RAMASUIは、株式会社池商の登録商標です。

・microSD™はSDアソシエーションの登録商標です。

・microSD Logolは登録商標です。

・その他会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

必ずお読みください

□ 注意事項

- ・本機は必ず定められた電圧でご使用ください。(DC12V/24V) ※感電や火災、故障の原因となります。
- ・DCプラグは付属品をご使用ください。付属品以外は本機の故障原因となります。
- ・本機取り付けの際は、必ずエンジンを切った状態でおこなってください。
- ・本機のスピーカー、結合部分などの穴やすき間にはピンや針などの金属を入れないでください。
- ・本機を温度が上昇する場所に長期間放置しないでください。
- ・コードが破損している状態では使わないでください。またコードを外す時は、必ずプラグ部分を持って外してください。
- ・本機を長時間動作した場合、本機またはレンズ部分が発熱します。直接手で触れないでください。
- ・本機はガラス面に正しく取り付けてください。
- ・ソケット部または電源コードのほごりや汚れはよく拭いて取り除いてください。
- ・本機に強い衝撃を与えないでください。
- ・本機の近くに磁気性ある物を置かないでください。
- ・本機の近くには障害になるような物を設置しないでください。
- ・トンネル出入時のように急激に明るさが変わる場合、逆光が強い場合、夜に光源がない場合は条件により録画品質が落ちることがあります。
- ・暗い環境では、なるべく高品質で録画するために、車両のヘッドライトをつけてください。
- ・本機のカメラレンズの表面やフロントガラスの表面はいつもきれいにしておいてください。

□ 免責事項

- ・本機はすべての状況下で録画を保証するものではありません。
- ・本機は自動車などの事故における証拠として、効力を保証するものではありません。
- ・本機の故障や使用による障害、または録画した映像の破損や損傷によって生じた障害は、当社は一切の責任を負いかねます。
- ・車両バッテリー上がり、ヒューズ切れに関して当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・LED信号で記録映像がチラつくことがあり、色の識別ができない場合があります。それに生じた損害は、当社は一切の責任を負いかねます。
- ・microSDカードの取り扱いには十分注意して、注意事項をよくお読みになり使用してください。データの損失おそび破損に関して当社は一切の責任を負いかねます。
- ・付属品以外の機器やケーブル類および市販品のmicroSDカードを使用した場合による本機の動作異常については弊社は一切の責任を負いかねます。

必ずお読みください

□録画について

- ・動作を確認するために、急ブレーキなど危険な運転はおやめください。
- ・録画した被写体は、プライバシーの侵害となる場合があります。取り扱いにご注意ください。
- ・走行中に本機を操作したりディスプレイを注視しないでください。録画をおこなう場合周囲の安全を確認したうえで操作してください。
- ・夜間映像にノイズが入っているように見えたり、夜間映像が白っぽく録画されることがありますが、正常動作です。
- ・録画条件により、録画のフレームレートやビットレートが変わる場合があります。
- ・電源を入れたあと、録画開始まで時間がかかる場合があります。必ず録画が開始されたことを確認してからご使用ください。
- ・録画して動画でナンバープレートなど詳細確認はパソコンでご確認ください。※本機では確認できない場合があります。

□液晶ディスプレイについて

- ・同じ映像を繰り返し表示した場合、液晶ディスプレイの性質により画面の焼付けが起こる可能性があります。これは保証の対象になりません。ディスプレイの明るさを暗く調整することで、焼付けの発生を軽減できます。
- ・液晶ディスプレイの性質により、スジ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これは保証になりません。
- ・ディスプレイを太陽に向けたままにすると、故障の原因となります。設置する際はご注意ください。
- ・遮光サングラス使用時、表示が見えなくなる場合があります。
- ・ルーフ付き車両の場合、画面への映り込み軽減の為、シェードを閉めてご使用ください。
- ・本機は純正ルームミラーとは視界の範囲が異なる場合があります。
- ・カメラ画面は、液晶画面に映る車両や障害物が実際の大きさと異なる場合があります。
- ・体調などにより、画面に表示される映像に目の焦点が合わせにくい場合は、液晶をオフにしてミラーモードでご使用ください。

□アイドリングストップ車での使用について

- ・一部のアイドリングストップ車では、再始動時に電源確保のため各部分へ供給電圧が低下することがあります。これにより本体の電源が落ちる場合があります。
- ・車両のバッテリー状態によっては、エンジン再始動時に本体の電源が落ちる場合があります。その場合は、車両バッテリーの電圧を確認してください。

□カメラレンズ、本機について

- ・本機動作中、カメラのレンズ、本機が発熱することがありますが、異常動作ではありません。大変熱くなる場合がありますので直接手で触れないようご注意ください。

□ご使用中に事故が発生した場合

- ・車のエンジンをオフにし、本機からDCプラグを外して確実に電源がオフになっていることを確認してからmicroSDカードを取り出してください。